

# 明示測量記号調書

## 1 文字

	フォント	文字サイズ
町名・家屋	明朝・ゴシック	特に設定しない。図面上見やすい大きさ
地番	ゴシック・FCフォント	10~12ポイントの大きさ
注記	明朝・ゴシック	特に設定しない。図面上見やすい大きさ
アルファベット・数字	ゴシック・FCフォント	赤数字については、高さ3mmとする。 その他については、赤数字とのバランスを考慮し見やすい大きさとする。
タイトル	明朝	特に設定しない。図面上見やすい大きさ
文字間隔		特に設定しない。図面上見やすい大きさ

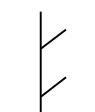
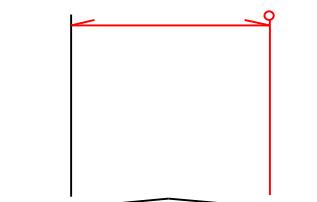
## 2 図面表記

### (1) 平面図

家屋		右側と下側に影を付ける。 (家屋線内側に二重線)
フェンス		
街渠柵		
マンホール		下(下水道) E(電気) G(ガス) T(電話) 等
樹木(独立樹)		
樹木(生垣)		
樹木(庭園木)		
ブロック		
カズラ石		

舗装	As (アスファルト) ILB (インターロッキング)	Co (コンクリート) 石張り (石張り)	Gr (土)
横断割線	幅員表示が下向きにならない限り、数字を横断方向の向きに合わせて表示する。		
敷地境界線	黒実線で表示		

## (2) 断面図

家屋	 屋根の表記はしない。
旗上げ	朱線は断面図を貫通させない。 

## (3) 網図

タイトル	基準点網図とする。
------	-----------

## 3 線

朱線	やや太め (0.20mm~0.25mm)
現況線	細線 (0.15mm~0.20mm)

#### 4 座標一覧表

##### (1)境界点等の種別と記号

上から	基準(補助)点(T) コンクリート杭(C) 京都市境界標の場合 京都市コンクリート杭(C) プレート(P) 京都市境界標の場合 京都市プレート(P)
びよう 鉢(N)	
ポイント(K)	
既設コンクリート杭(既C)	
既設プレート(既P)	
既設鉢(既N)	
既設ポイント(既K)	
引照点(I)	の順とする。

##### (2)項目

左から 点名 (点の記号の後に順に番号を付する) X座標 Y座標 種別 の順とする。
---

##### (3)種別

引照点は引照点と表記せず、現況の種類のみを表記する。
----------------------------

#### 5 分割図

##### 分割図の例

